

低学年 おおあめ①

1 題材名「おおあめのときのあぶないところ」

2 ねらい

大雨が降った時の危険な場所を知り、どのルートを通れば、危険な場所を通らず避難所に行けるのかを確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・ 予想される児童の反応	●留意点
1. 大雨が降った時の経験を発表する。	○「大雨が降った時、怖いなと思ったことはありますか。」 ・雷が鳴って怖かった。 ・川の水が増えていて怖かった。 ・風が吹いて飛ばされそうだった。	●子どもたちの大雨の経験を語らせることで、大雨の時のイメージを膨らませる。
2. イラストの中の危険な場所をさがす。	○「イラストの中で、あぶないところはどこだと思いますか。」 ・川は危ないです。落ちると流されるからです。 ・山も危ないです。崖が崩れてくるかもしれないからです。	●川と山の2つに×などの印を書くことで、逃げるルートのヒントにする。
3. 安全に逃げる道順を考える。	○「大雨が降った時、『お家』から『避難所(小学校)』までどうやって逃げますか。危ない場所を通らないで、『お家』から『避難所(小学校)』まで線で結びましょう。」	●ワークシートに記入させた後、発表させる。 ●実物投影機等で、モニターで写し、クラスみんなで確認できるようにする。
4. 教師のまとめの話を聞く。	○「大雨の時、川の水が増えて危ないので、近づかないようにしましょう。山や崖は崩れてくるかもしれないので、近づかないようにしましょう。」 ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

低学年 おおあめ②

1 題材名「もしものときにそなえて」

2 ねらい

災害に対する事前の準備の大切さを知り、避難の前の準備や心構えを確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	●留意点
1. 大雨が降った時の危険な場所について発表する。	<p>○「大雨が降った時、危険な場所はどこでしたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の近くに行かない。 ・山の近くに行かない。 	<p>●前回の学習を想起させ、危険な場所について確認する。</p>
2. 大雨や台風の際の備えについて考える。	<p>○「大雨が降りそうときや台風が近づきそうとき、どうしたらよいでしょうか。正しい行動を線で結びましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もしかしたら、避難しないといけなくなるかもしれないので、にげる準備をした方がよい。 ・遊んでいたら、逃げないといけないときに困ると思う。 <p>○「家族で避難するときに大切なことは何でしょうか。正しい行動を線で結びましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所を確認しておけば、逃げるときに困らない。 ・どこに行けば悩んでいる間に、逃げ遅れてしまうかもしれない。 	<p>●ワークシートに記入させた後、発表させる。</p>
3. 教師のまとめの話を聞く。	<p>○「いつでも避難できるように避難セットを準備しておくといいですね。おうちの人に確認してみましょう。前もって、家族で避難場所を調べておきましょう。」</p> <p>○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」</p>	<p>●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。</p>

低学年 じしん①

1 題材名「ねているときにじしんがおきたら」

2 ねらい

地震発生時の自宅での危険（落ちてくるもの、倒れるもの、割れるもの）を知り、揺れている間の行動と揺れがおさまった後の行動の仕方を確認する。

3 題材について

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	●留意点
1. 地震の際に、部屋にあるあぶないものについて発表する。	<p>○「ワークシートの絵を見てみましょう。地震はおうちで寝ている時にでも、起こることがあります。今日は、おうちで寝ている時に地震が起きたらどうすればよいのか考えてみましょう。ワークシートのお部屋には、何がありますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵が飾っています。 ・本棚に本があります。 	<p>●部屋にある物に注目させる。</p>
2. 寝ている時に地震が起きたら、何に気を付ければよいかを考える。	<p>○「寝ている時に地震が起きました。部屋の中にあぶないものに○をつけましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本棚が倒れてくるかもしれません。 ・絵が落ちてくるかもしれません。 	<p>●ワークシートに記入させた後、発表させる。</p>
3. 教師のまとめの話を聞く。	<p>○「寝ている時に地震が起きたら、どうしたらよいのでしょうか。よいと思ったことを書いて発表しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆれがおさまるまで、机やベッドの下にもぐって身を守る。 ・ふとんやまくらで頭を守る。 	<p>●窓ガラスが割れるという答えがでなければ、先生から説明してもよい。</p>
	<p>○「地震が起きたら、物が落ちてきたり、倒れてきたり、割れたりします。命を守るために、机の下など頑丈な物の下にもぐったり、大切な頭を布団や枕で守ったりして身を守りましょう。」</p> <p>○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」</p>	<p>●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。</p>

低学年 じしん②

1 題材名「がっこうに行くときにじしんがおきたら」

2 ねらい

地震発生時の登下校での危険（落ちてくるもの、倒れるもの、割れるもの）を知り、揺れている間の行動と揺れがおさまった後の行動の仕方を確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・ 予想される児童の反応	●留意点
1. 地震が起きたら周囲の物はどうなるかを確認する。	○「地震が起きた部屋にある物はどうなりますか？」 ・物が落ちてくるかもしれない。 ・物が倒れてくるかもしれない。 ・物がわれるかもしれない。	●前回学習で学習した地震の際、物が落ちたり、倒れたり、割れたりすることを確認する。
2. 地震の際に、道路にあるあぶないものについて発表する。	○「登校している時に地震が起きました。絵の中でのあぶないものに○をつけましょう。」 ・窓が割れるかもしれない。 ・電柱や自動販売機が倒れるかもしれない。 ・ブロック塀が倒れてくるかもしれない。	●「割れる・倒れる・落ちる」等の観点で、危ないところを見つけさせる。
3. 登校中、何に気を付ければよいかを考える。	○「登校中に地震が起きたら、どうしたらよいでしょうか。よいと思ったことを書いて発表しましょう。」 ・電柱や自動販売機から離れる。 ・ランドセルで頭を守る。 ・揺れがおさまったら、安全なところにげる。	●登校中は、さまざまな状況が考えられることも触れる。
4. 教師のまとめの話を聞く。	○「登校している時にも、地震が起きるかもしれません。物が落ちてきたり、倒れてきたり、割れたりするので、建物の中だけでなく、大切な頭を守ったり、あぶないところから離れて自分の命を守れるようにしましょう。」（登校中だけでなく、下校中も同様の危険があります。） ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

中学年 大雨①

1 題材名「台風が近づいてきたら」

2 ねらい

台風によってどのような事象が起き、どのような被害が生じるか、また、台風が来る際にどんなことに気を付ければよいかを確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・ 予想される児童の反応	●留意点
1. 台風の時の経験を発表する。	○「台風が来た時、どんなことが怖かったですか。」 ・ 川の水が増えていて、怖かった。 ・ 停電になって真っ暗になって怖かった。 ・ 警報が出て、大雨になって怖かった。	●台風が来たときの様子を想起させる。
2. 台風が近づいて来たらどのようなことが起こるのか、どんなことに気を付ければよいかを考える。	○「台風が近づいてくると、どんなことが起こるでしょうか。下のわくから言葉を選んで□の中に書きましょう。」 ・ 強い風がふいて、物が飛ばされてくる。 ・ 川があふれる。 ・ 海の近くでは、海面が高くなる。 ・ 山がくずれてくるかもしれない。 ○「台風が近づいてきたら、どんな事に気を付けたらよいでしょうか。下の枠から言葉を選んで□の中に書きましょう。」 ・ 水が増えた川や崖の下など、危険な場所へ近づかないようにする。 ・ ベランダにある植木鉢などは、部屋の中に入れよう。 ・ 明るいうちに避難する。	●ワークシートに記入させた後、発表させる。 ●イラストを見ればヒントになることを助言する。
3. 教師のまとめの話を聞く。	○「台風の時には、外に出ないようにしましょう。また、台風が過ぎても、川が増水していることもあるので、川に近づかないようにしましょう。」 ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

中学年 大雨②

1 題材名「ハザードマップの見方」

2 ねらい

洪水ハザードマップを使用し、ハザードマップとは何か、どのように見て活用するのかを確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	○留意点
1. ハザードマップの見方について知る。	○「皆さんはハザードマップを知っていますか。ハザードマップとは、山が崩れたり、大雨の時に川があふれて水につかったりするかもしれない場所が分かる地図です。」 「下の洪水ハザードマップを見てみましょう。大雨で水につかる危険のある場所には、赤や黄色の色がついています。」	●川に近い赤色の場所の方が、黄色の場所よりさらに危険性があることを押さえる。
2. ハザードマップを見て、安全な場所か危険な場所かを考える。	○「洪水ハザードマップを見て、安全なのか危険なのか調べてみましょう。安全か危険どちらかに○をしましょう。」 ・左上の家は、赤や黄色ではないので、安全。 ・左端のマンションは、赤い場所なので、危険。 ・真ん中の公園は、黄色の場所にあるので、危険。 ・右端の家は、赤や黄色ではないので、安全。 ・コンビニ近くの家は、黄色の中なので危険。 ・学校は、赤や黄色ではないので、安全。	●ワークシートに記入させた後、発表させる。
3. 教師のまとめの話を聞く。	○「このハザードマップは洪水ハザードマップで、大雨で水につかる危険のある範囲が分かる地図です。他にも、津波や土砂災害のハザードマップもあります。学校やおうちの近くはどうなっているのか、おうちの人と確認してみましょう。」 ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●住んでいる市町村のハザードマップを提示してもよい。 ●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

中学年 地しん①

1 題材名「教室にいるときに地しんがおきたら」

2 ねらい

学校の危険（落ちてくるもの、倒れるもの、割れるもの）を確認し、揺れている間の行動と揺れがおさまった後の行動の仕方を確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	●留意点
1. 地震の時の避難の約束を思い出す。	○「地震の避難の時に、気を付けることはどんなことでしたか？」 ・先生の指示に従う。 ・おはしもを守る。	●学校で決められている合い言葉や避難のルールを確認する。
2. 教室で地震が起こったら、気をつけること、またその理由を考える。	○「教室にいる時、地震が起こったらどうしますか。気を付けなければいけない場所に○が書いてあります。気を付けなければならない理由を点線の枠から選び□に書きましょう。」 ・ライトが落ちてくるかもしれない。 ・窓ガラスが割れるかもしれない。 ・時計が落ちてくるかもしれない。 ・本棚が倒れてくるかもしれない。 ・テレビが動く（倒れて）くるかもしれない。	●ワークシートに記入させた後、発表させる。
3. 教室の中で、身を守る方法を考える。	○「物が落ちてきたり、倒れてきたりするかも知れません。そんな時には、どのような行動が大切でしたか。」 ・机の下にもぐる。 ・机の足をしっかり持つ。 ・座布団などで頭を守る。	●具体的な行動について考えさせる。実際に机の下にもぐる練習をしてもよい。
4. 教師のまとめの話を聞く。	○「地震が起きても、倒れてきたり、落ちてきたりする物から身を守れるように落ち着いて行動しましょう。」 ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

中学年 地しん②

1 題材名「緊急地震速報が流れたときには」

2 ねらい

緊急地震速報とは何かを確認し、流れたときの行動（揺れている間の行動と揺れがおさまった後の行動）を確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	●留意点
1. 緊急地震速報について知っていることを発表する。	○「緊急地震速報って知っていますか。」 ・お母さんのスマホでアラーム音を聞いたことがある。 ・テレビで流れていたのを見たことがある。	●緊急地震速報のアラーム音を聞かせたり、テレビで映像を見せると想起しやすい。
2. 緊急地震速報が流れた時、どのような行動をとったらよいか考える。	○「地震が起きて、テレビやラジオなどから緊急地震速報が流れています。家の中にいるとき、家の外にいるとき、それぞれどのような行動をとればよいでしょうか。理由も考えてみましょう。」 【家中】 ・テーブルの下にもぐるとよいのは、物が落ちてきたりするからです。 ・ゆれがおさまったら、あわてて外に飛び出さず、料理などで火を使っていた場合、火を止めた方がよいです。火事を防ぐことができるからです。 【家の外】 ・家のそとでは、ブロック塀や高い建物から離れて、頭を守るのがよいです。 ・海や川の近くにいたら、すぐに海や川を離れて、高いところに避難した方がよいです。	●正解の理由だけでなく、誤答の理由も発表させるとなぜだめなのか理解が深まる。
3. 教師のまとめの話を聞く。	○「地震が起きると様々な物が落ちたり、倒れたりします。落ちたり、倒れてきたりしても身を守れるところに逃げましょう。」 ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

高学年 大雨①

1 題材名「警報と注意報」

2 ねらい

警報と注意報の違い、種類と内容を確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	●留意点
1. 知っている注意報や警報を発表する。	○「知っている注意報や警報を発表しましょう。」 ・大雨注意報や大雨警報をよく聞くね。 ・台風の時、暴風警報が出る時があるね。 ・最近、大雨特別警報も聞いたことがある。	●ニュース等で見聞きしたことがあるものを思い出させる。
2. 注意報や警報の違いを確認する。	○「表を見てみましょう。左から右に行けば行くほど、危険度が上がっていきます。つまり、注意報→警報→特別警報となります。警報は重大な災害のおそれのあるとき、注意報は災害のおそれがあるときです。」	●映像を見せるとより、イメージがわかりやすくなる。
3. 大雨注意報が発表された場合、どんなことに気をつけたらよいかを考える。	○「大雨注意報が発表されたら、どんな事に気を付けたらよいでしょうか。」 ・テレビやラジオ、インターネットで情報を確認する。 ・雨で増水した川や、がけの下など、危険である。 ・いざという時に備え、避難する場所や食料などを家族で確認しておいた方がよい。	●ワークシートに記入させた後、発表させる。
4. 教師のまとめの話を聞く。	○「注意報や警報が出ているときは、テレビなので情報収集し、避難場所や持出品の確認をしておきましょう。川などの危険箇所には近づかないようにしましょう。早めに備えておくことが大切です。」 ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

高学年 大雨②

1 題材名「ハザードマップと適切な避難」

2 ねらい

土砂災害ハザードマップを使い、災害リスクととるべき行動を確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	●留意点
1. 土砂災害について知っていることを発表する。	○「土砂災害について知っていることを発表しましょう。」 ・土砂で家が流されたのをテレビで見たことがある。	●映像や写真があるとイメージがわかりやすい。
2. 土砂災害ハザードマップの見方についての説明を聞く。	○「ハザードマップとは、崖崩れなどの土砂災害や大雨の時に水につかるかもしれない場所を表している地図です。ワークシートの土砂災害ハザードマップでは、危険な場所が黄色になっています。」	●ももっちの家は黄色の部分にかかっているかどうか確認しておく。
3. ハザードマップをもとに、避難の方法を考える。	○「大雨が続き、ももっちの家の近くの山で崖崩れが起きるかも知れない時、ももちは避難所に避難した方がよいでしょうか？家にいた方がよいでしょうか？良い方に○をつけましょう。」 ・災害はいつ起こるかわからないので、避難所に避難する。 ○「ももっちが目を覚ますと洪水で家の前の道路はすでに水につかっています。ももちは、家の中のどこに避難するのがよいでしょうか。」 ・2階に上がって、山と反対側の部屋に行く。	●ワークシートに記入させた後、発表させる。
4. 教師のまとめの話を聞く。	○「家に帰って、おうちの人と土砂災害ハザードマップを見て、確認しておきましょう。」 ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

高学年 地震①

1 題材名「地震の二次災害」

2 ねらい

どのような二次災害があるのか、海の近くに居るときに地震が起きたらどうするのか、二次災害に巻き込まれないためにはどうしたらよいのかを確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	●留意点
1. 地震の時、どのような二次災害があったか発表する。	○「学校で地震が起きた後、どのようなことが起こる可能性があるでしょうか。」 ・津波 ・がけ崩れ ・火災	●地震が起きた後に起こる災害を「二次災害」ということを確認する。
2. 二次災害に巻き込まれないための行動の仕方を考える。	○「地震はいつどこで起きるかわかりません。ワークシートの4つの場面の時、自分の命を守るために、どのような行動をすればよいでしょうか。」 ・家にいる時も、上から何か落ちてくるかもしれないので、机の下にもぐる。 ・津波が来るかもしれないので、高台や高いビルに避難した方がよい。 ・エレベーターの中に閉じ込められるかもしれないので、すべてのボタンを押して、エレベーターから早く出ないといけない。 ・火災の時は、煙は上に上るので、姿勢を低くして避難していた方がよい。	●ワークシートに記入させた後、発表させる。 ●回答確認の際には、ももっちの吹き出しを読み、安全な避難行動を確認する。
3. 教師のまとめの話聞く。	○「二次災害に巻き込まれないために情報確認と大人の指示を聞くことが大切です。」 ○「新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している時は、密集を避けた避難先や必要な持出品について、前もって家族の人と考えておきましょう。」	●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。

高学年 地震②

1 題材名「避難所と避難生活」

2 ねらい

避難所とはどのような場所か、何を持って行けばよいか、避難所で健康に過ごすためにはどうしたらよいかを確認する。

3 展開

学習活動	○発問 ・予想される児童の反応	●留意点
1. 平成 30 年 7 月豪雨について知っていることを発表する。	<p>○「平成 30 年 7 月豪雨災害の時、どんなことが起こったか知っていることを発表しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県でもたくさんの方が亡くなった。 ・避難所で生活しなければいけなかった人がいる。 	<p>●避難所の写真により、イメージを持たせる。その他、資料があれば、資料を提示してもよい。</p>
2. 避難する時に、必要なものや避難所で健康に過ごすための行動について考える。	<p>○「避難所に避難する時、何を持って行けばよいでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料や飲み物は絶対必要。 ・冬だと寒いので、防寒着が必要。 ・停電かもしれないので、懐中電灯がある。 ・床は冷たいかもしれないので、簡易ベッドがあるといい。 ・ラジオがあると、情報が得られる。 ・消毒液やマスク、体温計やスリッパがあると感染症対策になるからあった方がいい。 <p>○「避難所で健康に過ごすためには、どう行動したらよいでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水分をしっかりとらないと夏は熱中症になってしまう。 ・感染症予防のために、手洗いや消毒、マスクの着用が必要だと思う。 	<p>●ワークシートに記入させた後、発表させる。</p> <p>●持出品で他にも持って行くと良い物があれば、発表させてもよい。</p>
3. 教師のまとめの話を聞く。	<p>○「おうちの人と避難する時に持っていくものについて確認しておきましょう。」</p>	<p>●健康に過ごすために、他にもよい方法があれば、発表させてもよい。</p> <p>●解説編「先生・保護者の方へ」の内容を踏まえ、話をする。</p>